

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成24年10月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成24年10月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

平成24年10月の1店当たりの新車販売台数は前月比95.7%の15.5台となり、前年同月比では96.3%となった。車種別で見ると前月比で上回ったのが子供車112.5%、電動アシスト車107.1%で、横ばいが幼児車、下回ったのがシティ車90.3%、ホーム車95.9%、折りたたみ車83.3%、マウンテンバイク80.0%、スポーツ車85.0%である。前年同月比では上回ったのが子供車112.5%で、横ばいがシティ車、折りたたみ車、幼児車、マウンテンバイクで、下回ったのがホーム車94.7%、スポーツ車89.5%、電動アシスト車88.2%である。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「10月は家庭の旧車引取り処分条件でホーム車の販売を試み、よい実績だった」(福島)、「10月は今年一番の利益、中古車が毎日のように売れ、ものが多くのお客様にお断りした。量販店と競争しても勝つわけはなく、自分のできる店内を明るく、商品を定期的に掃除し、移動を心がけ、欠品の点検、早くていねいを実行、朝8時から閉店の7時まで店にしているようにしている」(東京)、「10月に限っては新車販売、修理ともに少し伸びた。先月の売り出しでは空振りに終わった目玉商品を覚えていて買ってくれたり、お得意様の買い替えや紹介、天候などいろいろな要素が重なった結果である」(東京)、「今月は中古車を整備して並べておいたら、安い方がよいお客さんが多くて、新車よりも中古車の方が多く売れた」(大阪府)など、売り上げに結びついた商いの工夫を示すものがあった。

また、「2013年モデルがスタートしたが、一部メーカーでは完売モデルが続出している。メーカーによって2013年モデルのスタートが12年夏や13年明けのところもあるのである程度統一してほしい」(岐阜)、「各メーカーの2013年モデルの発表会が始まるので在庫調整をしなくてはならないが、少しずつ値上がりの傾向だと思う。売れ筋を考えなくてはならない」(愛知)、「前年は春以後メーカー在庫の欠品が多く今年度は多めの在庫で臨んだが、今年のメーカー在庫は2012年通学モデルも多く売れ残しているため、13年モデル発表の前に在庫処分の値引きをかけている。売れない年に12年モデルを多く抱えて最悪の年である」(滋賀)など、2013年モデル発表時期ではあるが、在庫調整などの対応が難しそうである。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗:100]

(平成24年10月)

[単位:台 構成比:%]

車種別	本 月		前 月		前月比	前 年 同 月		前年同月比
	台 数	構成比	台 数	構成比		台 数	構成比	
シ テ ィ 車	2.8	16.0	3.1	17.0	90.3	2.8	15.4	100.0
ホ ー ム 車	7.1	40.6	7.4	40.7	95.9	7.5	41.2	94.7
折りたたみ車	0.5	2.9	0.6	3.3	83.3	0.5	2.7	100.0
子 供 車	0.9	5.1	0.8	4.4	112.5	0.8	4.4	112.5
幼 児 車	0.5	2.9	0.5	2.7	100.0	0.5	2.7	100.0
マウンテンバイク	0.4	2.3	0.5	2.7	80.0	0.4	2.2	100.0
ス ポ ー ツ 車	1.7	9.7	2.0	11.0	85.0	1.9	10.4	89.5
電動アシスト車	1.5	8.6	1.4	7.7	107.1	1.7	9.3	88.2
合 計	15.5	88.6	16.2	89.0	95.7	16.1	88.5	96.3
中 古 車	2.0	11.4	2.0	11.0	100.0	2.1	11.5	95.2
総 合 計	17.5	100.0	18.2	100.0	96.2	18.2	100.0	96.2
モーターバイク	0.5	2.9	0.6	3.3	83.3	0.4	2.2	125.0

注: モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。